

陳情書

東京都大学管理本部が平成15年8月1日以降に発表した都立の新大学構想に関する陳情

2003年12月12日提出

東京都議会議長 内田 茂 殿

飯田 勇

石野好一

宇沢美子

岡本順治

荻野綱男

落合守和

川合 康

木之内誠

小林賢次

中居 実

西川直子

初見 基

藤原真実

保阪靖人

私たちは次の2項目を要望します。

陳情項目（願意）

- 1．都立新大学の構想について、現在都立四大学とその大学院に在籍、在職する学生・大学院生・教職員に、大学管理本部が各大学で直接説明する場を設けてください。
- 2．東京都の新大学構想の中身を検討する教学準備委員会等の議事録を作り、関係者に公表してください。

陳情の理由

東京都（大学管理本部）が2003年8月1日に発表した「新しい大学の構想」に続き、同年10月31日に発表し「現大学等の存続期間」・「具体例等」を示した学生・大学院生への「お知らせ」、同年11月14日に発表した「東京都が開設する新しい大学の学部構成及び入試の概要について」などにより、東京都が構想する「新しい大学」の内容が少しずつ明らかになってきました。と同時に、大学院の構想が未だ示されない、新大学（新大学院を含む）の学長予定者が未だに示されない、などの不確定要素があるのも事実です。そして、「新しい大学」の内容がどこまで都民に理解され支持されるものであるのかも不分明であり、現在の都立四大学とその大学院生たちに広がった修学上の不安も解消されていません。

学生と大学院生たちは、東京都の大学に期待と希望をもって入学した次代を担う人材です。この人たちにとって東京都の「新しい大学」が十分納得できるものとなるよう、東京都がさらなる検討と工夫を重ねることが求められているのではないのでしょうか。

また、「新しい大学」の中身を検討する大学管理本部の教学準備委員会等の議論では、議事録が作成されていないと、伝えられています。透明性ある議論を保障するためには、7月31日以前と同じように、作成した議事録を公開する必要があると、私たちは考えます。

以上